

## エフセキュア プロテクション サービス ビジネス

# スマートデバイスもPCも一元管理 セキュリティ対策の手間はクラウドで最小化

スマートデバイスの浸透により、企業のセキュリティ対策は新しい時代に入った。どこにでも持ち歩いてインターネットがすぐに使え、アプリのインストールも容易——。社員からすれば魅力的なその特徴も、IT管理者から見れば、実に厄介な悩みの種となる。増大するセキュリティリスクを封じ込める対策とは。

スマートフォン／タブレット端末はIT管理者に新たな悩みをもたらした。Android端末に対する脅威は日々増大している。PCやサーバーと同レベルのセキュリティ対策をどのようにスマートデバイスにも展開し、かつ管理負荷の増大を抑えるのか。そのポイントについて、「クラウド型で利用でき、かつ、マルチデバイスを一元管理できるソリューションを選ぶことが重要」と語るのは、エフセキュア・プロダクトグループ部長の神田貴雅氏だ。

同社は、クラウド型のアンチウイルスソリューション「エフセキュア プロテクション サービス ビジネス (PSB)」を提供している。面倒なサーバーの管理や設定を行う必要がなく、Webブラウザで管理ポータルにアクセスすれば、多種多様なPCやスマートデバイスのセキュリティを統合的に管理できる。クラウド型であるため、パターンファイルは常に最新のものが社員の端末に配信される。ライセンスキーの管理や、端末のス

テータス管理、異常を検知したら適切な処置をするといった作業もポータルから即座に行える。ルールを守らない社員の端末は、遠隔から強制的に設定を行うことも可能だ。

## 多種多様なデバイスを一元管理 PCもモバイルも1つのポータルで

昨今、情報システム部門の人員は削減傾向にあり、一方でデバイスの数は増え、かつ多様化している。下画面のようにタブを切り替えるだけでマルチデバイスを一元管理できる点は、PSBの特に評価が高いポイントだ。

エフセキュアではPSB以外にも様々なセキュリティソリューションを提供しているが、「マルチデバイスの一元管理という特徴は当社製品に共通するもの。これが最大の差別化要素になっている」と神田氏は話す。例えば、1996年から同社製品を使い続ける大手メーカーでは、ほぼ専任1名で2万数千台の管理を行っているという。



エフセキュア  
プロダクトグループ  
部長  
神田貴雅氏

また、スマートデバイスの特徴を加味した機能も拡充している。1つが、リモートロック／データ消去だ。端末を紛失した場合は、遠隔から使用不能にしたり、内部データをすべて消去するといった操作が行える。信頼されている端末から位置情報の取得も可能だ。

高機能なMDMは不要で、セキュリティ対策と合わせて紛失・盗難対策も行いたい企業にとって嬉しい機能だ。

ウイルススキャン自体にも工夫を凝らしている。スマートデバイスは電池の持ちが悪いため、頻繁にスキャンを行うと利便性が損なわれる。そこで、アプリのダウンロード時等の適切なタイミングでスキャンを行うことで、利便性とセキュリティ対策のバランスを保っている。

エフセキュアでは当初、専任のIT管理者がいない中堅中小企業をメインターゲットにクラウド型のPSBを開発し販売してきたが、「最近では大手企業からの引き合いも増加中」という。これも、管理負荷の軽減効果の高さを裏付けるものと言えそうだ。

お問い合わせ先

**エフセキュア株式会社**

コーポレート営業本部

TEL : 03-5545-8940

E-mail : japan@f-secure.co.jp

URL : http://www.f-secure.co.jp



管理ポータルとAndroid用のエージェント(右)。PCとモバイルデバイスの管理が同じコンソールから行え、各端末のステータスはわかりやすいアイコンで表示される